

令和6年度 東京都建築技術発表会 結果発表 及び 表彰

令和6年11月20日、都民ホールにて「令和6年度東京都建築技術発表会」を開催しました。
各賞の受賞者及び講評について、以下のとおり発表いたします。
また、本発表をもって表彰に代えさせていただきます。

財務局長から

発表された皆様におかれましては、多忙な業務の中、作品の論文作成から、プレゼンテーションの準備、当日の発表まで、大変お疲れ様でした。

今年も会場での聴講に加えて、オンライン配信を併用し、多くの方に聴講していただけたと感じています。

発表会では、庁内に加え、特別区、市、公社といった庁外の組織の方が多く参加されました。様々な組織における取組を発表することで、幅広い技術情報を共有できる有意義な機会になったと思います。

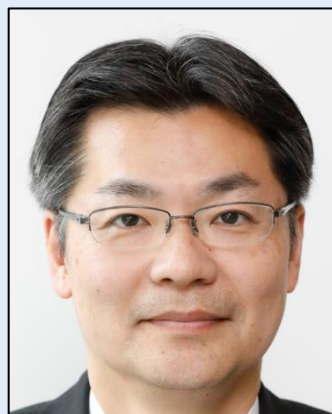
また、特別記念講演では、建築家の平田晃久先生に貴重なご講演をいただきました。「人間の波打ちぎわ」というテーマで、公共建築をはじめとした国内外の多数の作品をご紹介くださり、これからの建築のあり方について考える貴重な機会となりました。今後の施設整備にも大いに役立つものと考えております。

さて、現在、都では、環境負荷の低減や都市の強靱化など都政の重要課題に的確に対応するため、都有施設について、「第三次 主要施設10か年維持更新計画」に基づき、事業を着実に実施しています。

公共施設の整備に当たっては、防災対応力の強化、長寿命化の推進、環境負荷の一層の低減やカーボンニュートラルの実現、働き方改革への対応や生産性向上の取組など、行政に対するニーズがますます多様化しております。

こうしたニーズに応え、施設整備を進めていくためには、職員一人ひとりが常に問題意識を持つとともに、課題解決に向けて研鑽を積んでいくことが大切です。

本発表会を通じて得た知識や情報を職務に活かし、建築技術に対する時代の要請に的確に応え、良好な公共施設の整備に努めていただくことをお願いします。



東京都財務局長 山下 聡

各賞の受賞者一覧

最優秀賞

木下川排水機場の耐震化について

〔建設局江東治水事務所特定施設建設課〕

優秀賞

「構造・意匠・環境が調和した安全で環境にやさしい中野区新庁舎」の整備について

〔中野区総務部施設課〕

中央図書館リニューアル工事について ～福生十景「文化の森」に佇む図書館の改修工事～

〔福生市企画財政部公共施設マネジメント課〕

審査員特別賞

BIM を用いた既存建築物のデータ化と改修工事への活用

〔豊島区総務部施設整備課〕

公共工事のクラウド型電子申請の導入

〔江戸川区都市開発部施設課〕

技術賞

教育施設における ZEB 化へ向けた取組

〔財務局建築保全部施設整備第二課〕

応急危険度判定業務における判定支援ツール（GIS：地理情報システム）の活用について

〔東京都住宅供給公社技術管理部技術開発・管理課〕

国分寺市役所新庁舎建設について

〔国分寺市政策部公共施設マネジメント課〕

本庁舎浸水対策工事

〔八王子市契約資産部建築課〕

（賞ごとに発表順）



建設局江東治水事務所の発表風景



※最優秀賞を受賞した建設局江東治水事務所特定施設建設課の作品は令和7年度関東地方整備局のスキルアップセミナーへの推薦候補となります。

特別記念講演

「人間の波打ちぎわ」

講師：平田 晃久 氏

（ひらた あきひさ）

建築家

京都大学教授

講演で取り上げられた主な作品：

- ・「Global Bowl」
- ・「新竹市中央図書館」
- ・「太田市美術館・図書館」
- ・「臺灣大學藝文大樓」 ・「BIG-TREE」
- ・「小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」
- ・「練馬区立美術館・貫井図書館」 ・「ハラカド」

各作品の講評

プログラム1 教育施設における ZEB 化へ向けた取組 教育施設における ZEB 化の推進に向けた取組の発表でした。これまでの事例の分析を行った上で、効果検証モデルを作成し、諸室に応じた窓仕様の選定の有効性や照明制御の導入、冷媒管長の短縮等が省エネルギー性能向上に有効であることが分かりました。今後も継続的な効果検証を実施し、得られた知見の展開により、さらなる教育施設の ZEB 化を推進していただければと思います。	プログラム2 BIM を用いた既存建築物のデータ化と改修工事への活用 既存建築物の BIM データ化と改修設計への BIM の利用を通じて、改修における BIM の効果的活用方法と今後の課題抽出に関する発表でした。3D データ活用の有効性、改修図面の不正確さやデータ管理方法に関する課題などの検証結果を通じて、今後の取組に向けての方向性がまとめられたことが分かりました。課題が解決され、実際の改修設計・工事に BIM が活用されることを願っております。
プログラム3 「構造・意匠・環境が調和した安全で環境にやさしい中野区新庁舎」の整備について 施設の機能や行政サービスの向上を目的として建て替えられた中野区新庁舎に関する発表でした。基本設計分離先行型デザインビルドを採用し、民間ノウハウを活用することで、コスト削減や工期短縮の実現、さらには都内自治体庁舎で初めて「ZEB Ready」の認証が取得されたことが分かりました。今回得られた様々な知見をより多くの自治体で活かしていただければと思います。	プログラム4 応急危険度判定業務における判定支援ツール（GIS：地理情報システム）の活用について 応急危険度判定を効果的・効率的に実施するために導入された地理情報システムを活用した判定支援ツールに関する発表でした。モバイル端末での判定記録の入力・保存・送信が可能となり、判定結果がリアルタイムで自動集計されるため、従来の調査票への記入よりも判定効率が向上することが分かりました。組織への定着などの課題が解決され、判定体制の強化が図られることを願っています。
プログラム5 国分寺市役所新庁舎建設について 旧庁舎の解体により、市内各所に分散された庁舎機能を集約するために整備された新庁舎に関する発表でした。「ZEB Ready」認証取得といった取組のほかに、当事者との意見交換に基づくユニバーサルデザインの導入や市民の参加による体験型プログラムの実施など、関係者と共に事業が進められたことが分かりました。こうした取組が実り、多くの市民に親しまれることと考えます。	プログラム6 木下川排水機場の耐震化について 江東三角地帯の治水上重要な施設である木下川排水機場の耐震化に関する発表でした。常に排水ポンプを稼働できる状態を維持しなければならないことなどの与条件を考慮した設計・施工が必要となり、関係者が協力して事業を進めてきたことが分かりました。今後同じような困難に直面した場合においても今回の経験を活かして、事業を進めていただければと思います。
プログラム7 公共工事のクラウド型電子申請の導入 公共工事のDXを推進して業務の効率化を図るため、工事書類の電子申請を可能とする環境づくりの構築に関する発表でした。クラウドによるペーパーレス化やタブレット端末による業務時間の有効活用が実現でき、事業者の電子申請への満足度は非常に高いことが分かりました。この取組が他自治体にも共有され、必要により活用されていくことを期待しています。	プログラム8 中央図書館リニューアル工事について ～福生十景「文化の森」に佇む図書館の改修工事～ しゅん功から40年以上が経過し、設備の老朽化やバリアフリー対応が課題の中央図書館のリニューアル工事に関する発表でした。バリアフリー化や設備更新のほか、市のシンボルとして「景観や雰囲気を変えない」という要望への対応に苦労した改修だったことが分かりました。今回の改修により得られたランニングコストの検討の必要性などを今後の施設整備に活かしていただけたらと思います。
プログラム9 本庁舎浸水対策工事 浸水予想区域に含まれる八王子市本庁舎の浸水対策工事に関する発表でした。建物外周部と建物内部を二つの水防ラインとして、シート式や脱着式の止水板などを設置し、更に重要設備室の出入口を防水扉とすることや、万が一の対策として排水ポンプを設置するなど、万全の対策を行っていることが分かりました。有事の際には、この対策の効果が発揮されることと考えます。	本年度も皆様にご協力・ご参加いただき、無事に開催することができました。 ありがとうございました。 東京都建築技術発表会事務局 財務局建築保全部技術管理課